

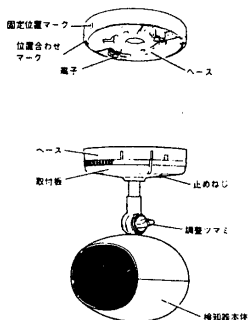
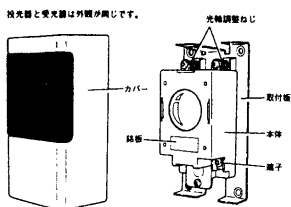
工事店様へ

●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

各部のなまえ

対向式検知器 (投、受光器)
AS-810 (AS-830)

赤外線反射式検知器
ASR-804

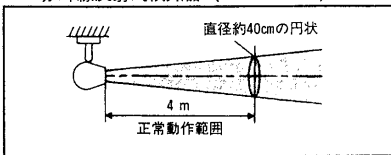


警告

- 電源 (100V) を切った状態で施工してください。
(活線工事は感電、故障の原因になります。)
- 端子への接続は確実に行ってください。
(発熱の原因になります。)
- 製品の分解はしないでください。
(故障の原因になります。)

動作範囲

■検知器の動作範囲
●赤外線反射式検知器 (ASR-804)

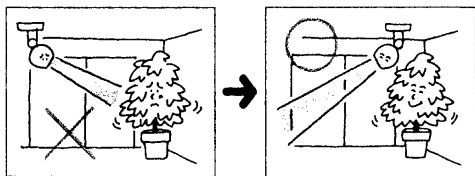


- 必ずこの範囲でご章ください。
- この範囲に動くものを置かないでください。

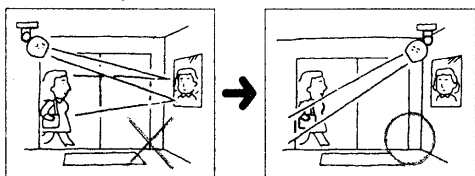
設置時のご注意

赤外線式検知器 ASR-804

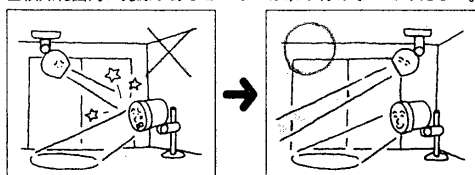
■検知範囲内に動く物体があるところには取り付けしないでください。



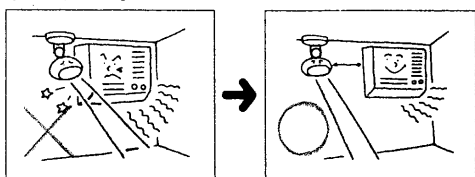
■検知範囲内に鏡、ガラスの反射体があるところには取り付けしないでください。



■検知範囲内に光源があるところには取り付けしないでください。

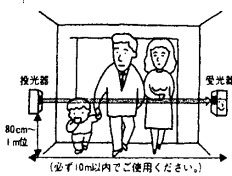


■電気雑音の発生する機器 (クーラーなど) の近くには取り付けしないでください。誤動作することがありますので50cm以上はなしてください。



対向式検知器 AS-810

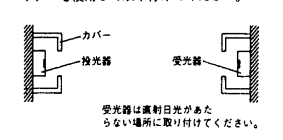
■投・受光器の取付高さ



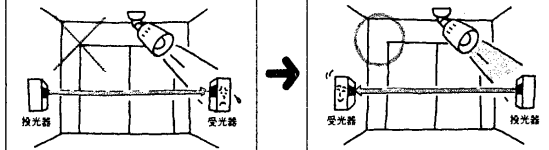
(AS-530は検知距離が30cmです。)

■投・受光器の屋外取り付け

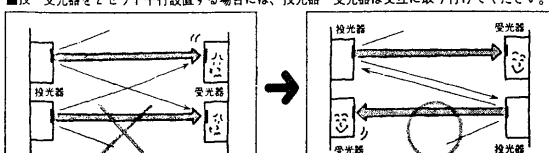
●投・受光線を屋外などでご使用になるときは、雨や直射日光があたらないようにカバーやボックスを使用して取り付けしてください。



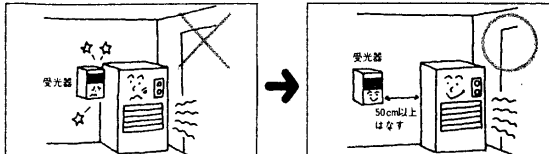
■受光器はスポットライトなどの強い光があたるところには取り付けしないでください。



■投・受光器を2セット平行設置する場合は、投光器・受光器は交互に取り付けてください。



■受光器は電気雑音の発生する機器 (クーラーなど) の近くには取り付けしないでください。誤動作することがありますので50cm以上はなしてください。



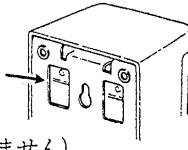
■投・受光器は振動が大きいところには取り付けしないでください。誤動作することがありますので頑固な壁面などに取り付けしてください。

投・受光器の取り付けかたと光軸調整

屋内取り付け

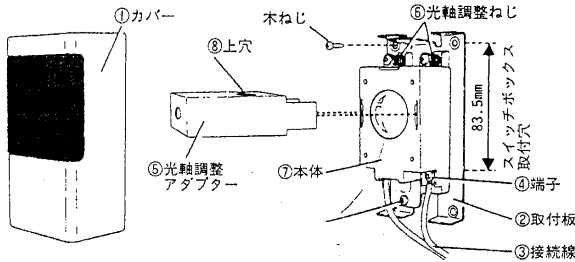
■造営材に直付けする場合(投・受光器とも取り付けは同じです)

1. カバー①を取りはずします。
(取付板の上部を引いてはずしてください)右図
2. 取付板②を木ねじ4個で造営材にしっかり固定します。
3. 接続線③を端子④に接続します。(陽性はありません)



■スイッチボックスに取り付ける場合

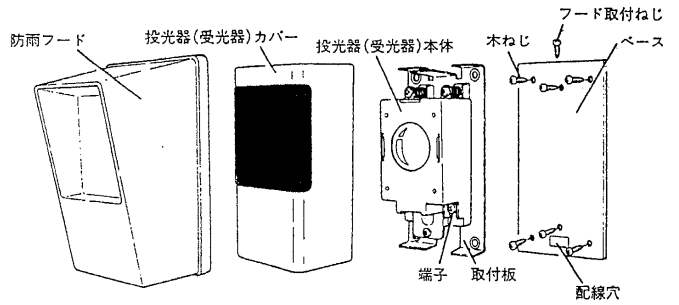
1. カバーを取りはずします。
2. 取付板の裏面からすきまを通して接続線をひき出します。
3. ボックスねじで取付穴(ピッチ83.5mm)にしっかり固定します。
4. 接続線を端子に接続します。



屋外取り付け

■投・受光器を野外に取り付けする場合は防雨フード<AC-8>(別売)を使用してください。(AC-830には防雨フードが付属しています。)

1. ベースの配線穴から電線を引き出し、付属の木ねじで壁面に固定します。
2. 投光器(受光器)のカバーをはずし、本体の取付板を付属のねじでベースに固定します。
3. 投光器(受光器)の端子に電線を接続します。
4. 光軸調整が完了しましたら投光線(受光器)のカバーをかぶらせ防雨フードをフード取付ねじで固定してください。

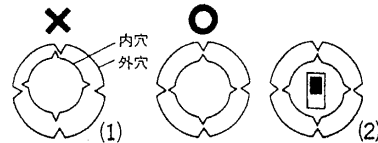


光軸調整

(投・受光器とも、調整します)〔番号は屋内取付けの絵を参照〕

1. 光軸調整アダプター⑤を本体⑦に挿入します。(奥まで確実に入れてください)
2. 調光アダプターの上下穴⑧からのぞいて、外穴と内穴の中心が合うところに目の位置をもっていきます。(下図①)
3. 目の位置を注意しながら、光軸調整ねじ⑥3個をドライバーでまわして投光器または受光器が円の中心にくるように調整します。(下図②)

4. 投・受光器ともに調整が完了したら調整アダプターをはずし、カバーを取り付けます。(カバー下部を取付下部にあてながら押すと楽に入ります)
5. 光軸調整アダプターは、再調整する場合がありますので必ず保管してください。



ご注意とお願い

■検知器は、屋内専用です。(検知器-10°C~+45°Cの範囲で使用するように設計してあります。)つぎの場所には取り付けないでください。投・受光は防雨フードを使用して、屋外取り付けができます。

1. 雨や直射日光のあたるところ
2. ストープなどの暖房器具の真上やその付近
3. 風呂場など、特に湿度の高いところ
4. 有害ガスやほこりが特に多いところ

■AC100V以上の電源と近接、平行または公差して配線しないでください。
(誘導により、誤動作が生じる恐れがあります。)

■器具の前面が汚れますと感度が低下します。汚れたときはやわらかい布でふいてください。(前面はプラスチック製ですので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふかないでください。また、スプレーなどを直接かけないでください。)

■ガラスごしに、投・受光器を設置するときは、ガラスに対してななめに取り付けないでください。

■ビーム光をくぐったり、とびこえたりした場合は、動作しません。

■雷や、自動車のヘッドライト、または直接太陽光が当たりますと、誤動作することがあります。

仕様

■投・受光器 AS-810・AS-830

	AS-810	AS-830
電源	DC12V 2線式 無極性	
消費電流	投光器: 26mA 受光器: 通常時15mA 検知時100mA	
検知距離	10mまで	30mまで
使用周囲照度	0~50,000Lx (屋外の場合は防雨フードを使用)	
使用周囲温度	-20°C~+50°C	
使用場所	屋内専用(防雨フードを使用すると、屋外取付可能)	
付属品	木ねじ4個 光軸調整アダプター 防雨フード(AS-830のみ)	

■検知器 ASR-804

	ASR-804
電源	DC12V 2線式 無極性
消費電流	通常時50mA 動作時115mA
検知距離	4m
使用周囲温度	-10°C~+45°C
検知対象	通常の歩行速度における人間の動き
使用場所	屋内専用
付属品	木ねじ2個、接続線15m